

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一

早いもので、まつをの入院生活ももう五ヶ月になつてゐた。発病したのは、あの凍てつくような寒さのつづいていた正月のはじめだったのに、病院からようやく退院の許しがでたのは、もう春もさかりの五月中旬だった。退院の知らせをきいて、勢津も、八鹿町からかけつけてきた。

「まつをはん。よかつたなあ。いまやからいえるけど、あのときは、ほんまにもうあかんと思った。こんなに元気になつて、話ができるなど、夢にも思わなんだなあ」

勢津は感慨ぶかけにいった。夢だといえば、勢津にはあのときの身内のあさましい姿が、悪夢のように思いだされてくる。

「おばあちゃんにも、えらい心配かけましたなあ——」

まつをも、しんみりとした口調でいった。彼女は今までこの義母を誤解していたように思つ。自分が危篤状態をつづけていたときのことを、あとで市橋たちからあれこれときかされ、まつをは、勢津の人柄を見なおしたくなつた。

市橋たちは、まつをの兄弟や勢津の娘が、死にかけていた病人のそばで、遺産の分捕り話をしていたことは、まつをには黙つていた。きけば、まつをも虚心ではいらぬねだろう。本人がこうして生きのびている以上、もうすんだ話だし、ことさら耳にいれて不快がらせることもないと思われたからだ。だが、いつか市橋は、そのときの話のなかで、

「まつをはん。おのおばあちゃんは、ええ人やで」と、さりげなさそうにいった。まつをには、その短い

言葉が、なぜかいつまでも心に残つていた。
かつて勢津が年端もゆかぬわが子を捨てたのは事実である。そのことは責められていい。だが、人間というものは、ながい一生のあいだで、自分はどうにもならない運命にめぐらすことだってありうる。勢津が利市と別れたのも、いわばそうした人間の悲しい運命の仕わざだったのだろう。自分がかたくなに思いこんでいたほど勢津は薄情な人ではなかつたのかも知れない。そう思うと、まつをは、これまで勢津にたいして閉じられていた心の扉が、はればれとひらいていくような気がした。

退院の日は、いかにも五月らしくさわやかなさつき晴れになつた。平日だったので、良治は登校していたが、御崎の店からは番頭や小僧、女中のおたかもやってきて病院をひきはらう支度に大わらわだった。五ヶ月もいる

★あらすじ まつをは十五才で広島の生家を出て鍼灸の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦労したすえ、呉服屋かたぢ屋を開いた。結婚後二十年やつと子宝に恵まれたが、利市は「南栄商店連合会長」に選ばれたが、多忙な身は病を起こし、翌年三月他界した。亡夫の一周年忌をすますと、まつをは大活躍をはじめるが、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年の正月、まつをは高血圧で倒れた。

昏睡状態で生死の淵をさまよつたまつをは、奇蹟的によみがえつたが、彼女の左半身は完全に不適になつていた。三月ちかくも肉身のいらない家でがんばつた長男の良治は、一中の試験にパスしてまつをを喜ばせた。

「それではお大事に」

そんな別れの挨拶をかわして、五ヶ月

間派手な入院生活を送った患者は、退院するときもぎやかな一団をひき連れて

病院を去っていった。

御崎の店では、この日は臨時休業にして、市橋や紀州屋をはじめ商店会の面々が、ここでもまたにぎやかに、まつをの帰宅を待っていた。まつをを乗せたハイヤーが店先につくと、出迎え人たちはどっと車をとりかこんだ。

「やあ、お帰り！」

「退院、おめでとうさん」

「元気な姿、待ってましたで」

いまにも万才の声でもあげそうな、手放しで退院を喜んでくれる町の人たちの善意に、まつをは、一瞬、胸のつまるような感動をおぼえた。

「どうもどうも。ながいこと店を留守にして、みなさん

にえろうご面倒をおかけしましたなあ」

小僧に背負われて車からおりながら、まつをは、思わず目頭をうるませていた。

奥の居間に寝具の用意がしてあった。まつをは、帯をといただけで、ひとまず身体をやすめることにした。おたかが、あつい茶を運んできた。まつをは、いれたての香りのいい茶で喉をうるおしながら、枕元にすわっている勢津にいった。

「ああ、やっぱり、わが家がいちばんよろしいなあ」

「そら、病院は設備がととのうてるやろけど、気がらくなのは、なんというても自分の家や」

勢津も合槌をうつたが、

「けどなあ、まつをはん、これからはどうないしたもんや？」 女手はおたかはん一人やしなあ」

「さいいな。そのことでは、わたしもいろいろ思索してま

と、一世帯持てるほどのものがたまっていた。

「いざ退院となると、この病室も名残りおしうなるなあ」

まつをは、ベッドのうえで、勢津に頭髪を結つてもらひながら、あらためたまつた面持ちで見なれた部屋のなかをながめまわした。あたまを束髪に結つてもらい、おたかと付き添い婦に両わきからかかえられて、ベッドに腰をかけると、おたかが持つてきたお召のきものに着換えさせてもらった。ひさしぶりに帯をしめると、さすがにしやんとした気持ちになった。

病院でのさいごの昼食をすますと、昼すぎ、病院長以下主治医や看護婦・付き添い婦らに見送られながら、まつをは、小僧の一人に背負われて、病院の玄関をでた。玄関先には、二台のハイヤーと、小僧の自転車三台が待機していた。自動車のトランクと、自転車の荷台には荷物がぎっしりと積まれた。

「どうも長いあいだお世話になりました」



したんや」

こうして帰つてくれれば、さつそく、病院の付き添い婦の役をしてくれる女手が必要だった。朝の洗顔から、着換え、食事、入浴、それにしものここまで、二六時じゅう、他人の手をかりなければならぬ。まつをは、おたかにすべての面倒をみてもらうつもりだった。おたかは飾磨の浜の出で、いちど片づいたが、



連れあいに海で死なれ、子供がなかつたので、身ひとつでかたち屋に住みこんでいた。いまはもう四十を越して、いたが、陰日向のない働きものだったので、まつをも家族同様に頼りにしていた。おたかのほうでも、居ごちがいいのか、飼い殺しにしてもらうつもりでいる。だが、おたかがまつをの世話をかかりきりになると、店のものを世話する女手がいる。

「おばあちゃん、どうでっしゃろ？ 八鹿の在あたりに、ええ女中はん見つかりまへんやろか。女中仕事は、町のもんにはつとまりにくさいかな」

「うん、そうや。村岡の知りあいに、ちょうどええ娘がいる。丈夫で、よう働く娘や。わしが頼んだら、きてくれるやろ。帰つたら、すぐにいってみる」

勢津は自信ありそうに請あつた。

退院して一週間ほどたった夜、まつをは、入院中世話になつた人たちを招いて、床あげの祝いをした。

「まつをはん。厄払いのつもりで、ひとつこう、ぱッと威勢ようやろうやないか」

紀州屋が張り切つて、自分から祝宴の差配を買つてた。

その日は、店を早じまいにして、日が暮れる、店先には、定紋入りの幔幕が張りめぐらされた。奥の客間とそれにつづく二部屋の襖をとり払い、三十名ほどの客たちがぞくぞくとつめかけた。紀州屋の寄贈で、まつをが愛用していた菰かぶりも座敷に運びこまれた。まつをが呉服屋仲間といひきにしていた柳原から、きれいどころも四、五人呼ばれた。

床柱を背に、黒の縫い紋の羽織姿で、まつをは坐わり椅子におさまっていた。彼女はまだ自力で坐わっていることができない。坐わり椅子は、市橋が自分の店で特別につくらせたものだつた。まつをは正座ができるない。坐わり椅子のうえで、男のようにあぐらをかき、薄い毛布で不作法な両脚をかくしていた。

県議の森川も姿をみせ、まつをとならんでいた。

「こうして坐わっていると、発病まえとちつとも変わらない。ほんとによくなられた」

「へえ。これもみんなのおかげで——」

まつをは、毛布の下に動かぬ左手をいたまま、丁重にあたまをさげた。

「しかし、これからは月に一、二度、権威のある専門医に往診してもらつたほうがよろしいな。定期的に診てもらつておると、いざというときには心丈夫ですからな」

森川は、脳溢血の患者が呼吸器の病院に入院したことを見、いまでも残念がつていていたようであった。

「わたしは布引の田川内科の院長と懇意にしている。田川博士はそのほうの名医で通つた先生だから、よかつたら、ご紹介しよう」

「へえ。ぜひお願ひ申します」
まつを自身も、天沼病院に入院したことはまずかつたと、入院中から気づいていた。

市橋の挨拶で、祝宴ははじまつた。めでたい席なので、たちまちにぎやかにはずみだした。
めでた、めでたの、若松さまよ——と、もうそんな陽気な歌が、どこからかとびだしていた。芸者の一人が、

まつをの酌にきた。だが、まつをはあわてて右手をふつてみせた。

「あかん、あかん」

「いや。今夜はあなたの退院を祝う席だ。まあ、かたちだけでも一杯うけなさい」

森川がわきから言葉をかけた。

「そうでつか。ほんならまあ、森川先生のお言葉に従つて、一杯だけ」

まつをは、こわごわ膳部の杯をとりあげ、芸者の酌を

「ほんなら、いただきます」
ひとつ、口にふくんだが、しかし、まつをは思わず顔をしかめていた。にがい！ 五ヶ月ぶりの酒が、こんなににがい味だったとはわれながら不思議でならなかつた

「先生。もうあきまへんわ。お酒ともいよいよ縁切れだす——」
まつをは苦が笑いしながらいた。だが、これでいいのだ、と胸のうちでつぶやいていた。縁を切るのは、酒だけではなかつた。もうひとつ、大きな決意を、彼女は胸中に秘めていた。

(つづく)

★神戸の催物ごあんない★

<演劇>

►モスクワ芸術座

9月27日「三人姉妹」原作/チェホフ 28日「どん底」
原作/ゴーリキー いずれも PM 6:30 料金A-¥3000
B-¥2500 C-¥2000 D-¥1500 E-¥1000 於神戸国際会館



モスクワ芸術座 三人姉妹

<音楽>

►東京キューパン
ポーイズ“民謡集”

9月6日 PM

2:00 PM 6:30

会費 ¥380 民謡

9月例会

►大阪フィルハーモニー交響楽団
演奏会

9月20日 PM

7:00 指揮/朝比

奈隆 曲目/『アルプス交響曲』『舞踊組曲クルミ割り人形』 会費 ¥500 民謡 9月例会 於神戸国際会館

►佐良直美と松岡直也クインテット

9月22日(日) PM 3:00 主催・神戸労音 会費 ¥600 於神戸国際会館

►ジョン・ウイリアムス・ギターリサイタル

9月26日(木) PM 6:30 主催・神戸労音 会費 ¥800 於神戸国際会館

<美術>

►中国青銅器展(白鶴秋季展)

9月14日より11月末まで 料金 ¥100 於御影白鶴美術館

►南蛮紅毛美術展

9月中旬より11月末まで 料金 ¥100 於神戸南蛮美術館

►有名画家遺作展

8月30日～9月4月 於三宮そごう 8階画廊

►兵庫県工芸美術展

9月6日～11日 於三宮そごう 8階画廊

►第2回(書画)中道聖月個展

9月10日～18日 於三宮そごう 8階画廊

►上田俊夫油絵展

9月20日～25日 於三宮そごう 8階画廊

►京焼と秋の拂花展(新日本華道授業会)

9月27日～10月2日 於三宮そごう 8階画廊

木柏嘉嘉金大小小岡岡岡牛上榎石井石乾砂青荒有浅朝安
曾比下井納納井淵野根崎部崎尾田並野上野 野木木田田余部
文 健毅正元ツ一真 伊真吉将正成左信豊 重信長 正
ト 都 衛 繁一六治彦ム夫造忠子一朗雄一明門一彦仁雄晃道平隆夫

竹津玉田田田淹澆竹角砂塙新白雀坂阪古後小小小小
馬高井中中村宮川中南田路谷川部口本林藤林泉林磯
準和 健寛孝虎勝清 猛重義秀 昌干 喜末英秀徳芳良
之 一之 之
助一操郎次介彦二一郁夫民孝雄渥介雄勝樂二一雄一夫平

神行山若百村宮宮松福深原畠原野南中直外
戸青吉口杉崎上地鉢井富水 口沢部西木島
年故泰辰正裏辰高芳惣泰專忠幸圭 太健
議二 一次二 一
所女弘慧雄郎二雄男美吉良郎郎郎三勝郎吉

発行にいろいろとお世話いただいた方がた

【米月】と初めに結婚した神戸。つ子ですが、私は今はとても複雑な気持です。ところが、今の私は、娘の先きは北の町、函館生れのものです。私は生れた神戸の町、函館で二十余年、一度も神戸を離れていないのです。函館も神戸も港町で、とても北の国風の街でした。町のような明るいハイ・センスなムードも期待できそうにあります。しかしも月半たちは、きっとホーリー・シックにかかると思います。そこで、思ひ出しがあるのが、その神戸っ子、明だこの雑誌。きっと、私の心の解消してくれるることでしょ。たくさんの嫁入り道具に混じって、神戸っ

★ 「神戸っ子」ますます発展の趣
大慶に存じます。八月号の自動車特集の中で、ジープのことが掲載され
ておりましたが、ジープの技術解説は
はまた別の機会にして、神戸とジープ
についてお知らせしましょう。

神戸の地形は、全くジープバンに
最適の土地であり、かつて塙屋のジ
エームズ山、六甲ハイクから阪神間開
通に至る迄の青い屋根のようなハウス
根、シンデレラの国のようなハウスの
間を、ジープを駆った一人として
その後もシープで遊んでいたことをもつ
ております。階段を上るジープとい
いては、六龍莊など阪神間の山地に
多くたつようです。

私は、現在は経営コンサルタントとして約15年間、特に各会社の女子社員教育講師が専門で、神戸に参りますときは、いつも「神戸のジープ」を教説講入して、お土産とい
たしておなります。

今、各会社の女子社員教育講師が専門で、神戸が発祥地ののです。一度、全
くのOLと神戸のOLについて、ジープを執る機会があろうかと思いま
す。 (生田区 小堀一夫)

子も北の港町へお越し入れです。
(芦合区 橋美子)

編集後記



★懶りながら飲む小室美津さん
★懶りながら飲む酒は快い。自然から
懶舌に移る気持は、實に不連続なもの
である。物事の推移をききわめる
時、事態から事態への接点を見るだけ
では悟りきれないものがあるが、
戸の街の変化にしても然り、支離滅
裂な言行をする女性に対しても然
り。初秋をむかえて必要なのは、ハ
ードではあるまい。（吉本芭彦）
★昨年、治ある器の普及がめざまし
が、専更に夏の暑さが厳しく感じら
れるようになった。町の騒音が炎に
油を注ぐ。夏の風情が失なわれてい
て一年を経て寒いのは我がフト
コロのみ。云ふ不景観美。

神戸つ子ごあんない



★月刊神戸っ子を毎月お読みになら

お友達に、神戸の香りをおとどけ
なりたい方は、編集室あてにお申
み下さい。さっそくお送りいたし
す。

6月刊
年分
一六五〇円
(送料共)



Dandy Corner

世界のおしゃれをおとどけする

紳士服飾 ウクタ

★神戸店=元町通1丁目64

TEL(078) 33-2677

★東京店=東急百貨店日本橋店1階

TEL(03) 211-0511 内線318

★東京店=東急百貨店本店6階(渋谷)

TEL(03) 462-3435

●ニットウェアの コーディネイトを楽しもう！

秋、ニットの季節がやってきました。Vセーターやカーディガンに、タートルネックを組み合わせて、個性を生かした色のコーディネイトの楽しさを味わってください。流行のマーク入りの代表選手は、ラコステ(ワニマーク) マンシング(ペンギンマーク)。色はグリーン・ブラウンが、新しい感覚です。

紺の似合う人になりたい！

江原興造 <クリフォード・ウイルキンソン>
タンサン鉱泉KK勤務

黄色のタートルセーターに、ラコステのチャコールグレーに、ブルーグレーのストライプのカーディガンをきこなした江原氏は「ぼくは、フォーマルもスポーティもどちらも好き。色は紺とグレー。紺はいくらつきあってもあきがこす深みがあるから、紺の似合う人になりたいですね。ぼくのポイントは全体の統一のみ」と語る。



ポート・ルック

●楽しいベスト・スタイル

福富芳美 <明石女子短大学長・神戸ドレメ院長・大丸顧問デザイナー> カメラ・米田定藏





初秋の五突に錨を降した英國のカーゴーシップ。その名もストラスローラ号。

キャプテンにこんなには！と微笑むマドモアゼルは、モダーンなエメラルドクリーンのベスト・スタイルです。

今秋、きっとみんなが着てみたくなるような新しいタイプのベストは、長い着丈。ブラウスは淡いピンクのシルクシャンタンで

ロマンチックなデザイン。長いカフスとネックのボーダーが、ベストにぴったりの、可愛いムードです。

ベストといえば上着といった常識から、今月は、ベストスリットの登場という新鮮さが楽しめるボートルックです。

*9月のマドモアゼルは、ラジオ関西ポップスインジャパンのホステスとして人気のある松本聖子さん(19才)。

山手高校を卒業後、OCMタレント・グループに所属して、テレビ・ラジオに活躍する神戸っ子。

ストラスローラ号のキャプテンに「ジャバニーズツイギー！」と曰を細めさせたチャーミングな彼女は、「ヘッセの詩が好きで

自分で詩を書くの」と長い黒髪を揺らした。

「将来はモードデザイナーになつて、お店を持ちたいわ」とは、おしゃれな彼女にふさわしい夢だった。





味覚の秋に・楽しいチャンコ鍋
佐分利信のようなタイプが好きというご両人。チャンコ鍋とエビフライ定食で会社帰りにごきげんです。

いよいよ天高く、味覚の秋スタート！

野沢和子・武村美和子さん(左)

〈トアロード・エスター・ニュートン勤務〉

★三宮阪急西口の《悟味酉本店》が全店マス席の鍋もの専門店として新装開店いたしました。

鍋もの・定食
悟味酉本店
阪急西口 〈33〉 3848

鍋もの
炉ばた **悟味酉**
阪急西口 〈33〉 3848
<2階>

★姉妹店

お茶漬・おむすび・鍋もの
ふる里
生田前筋 〈33〉 5535

さんちかタウン

悟味酉ちゃんこ場

味ののれん街 TEL 神戸 (39) 5319

こうべ ろまん

（9）
舞子

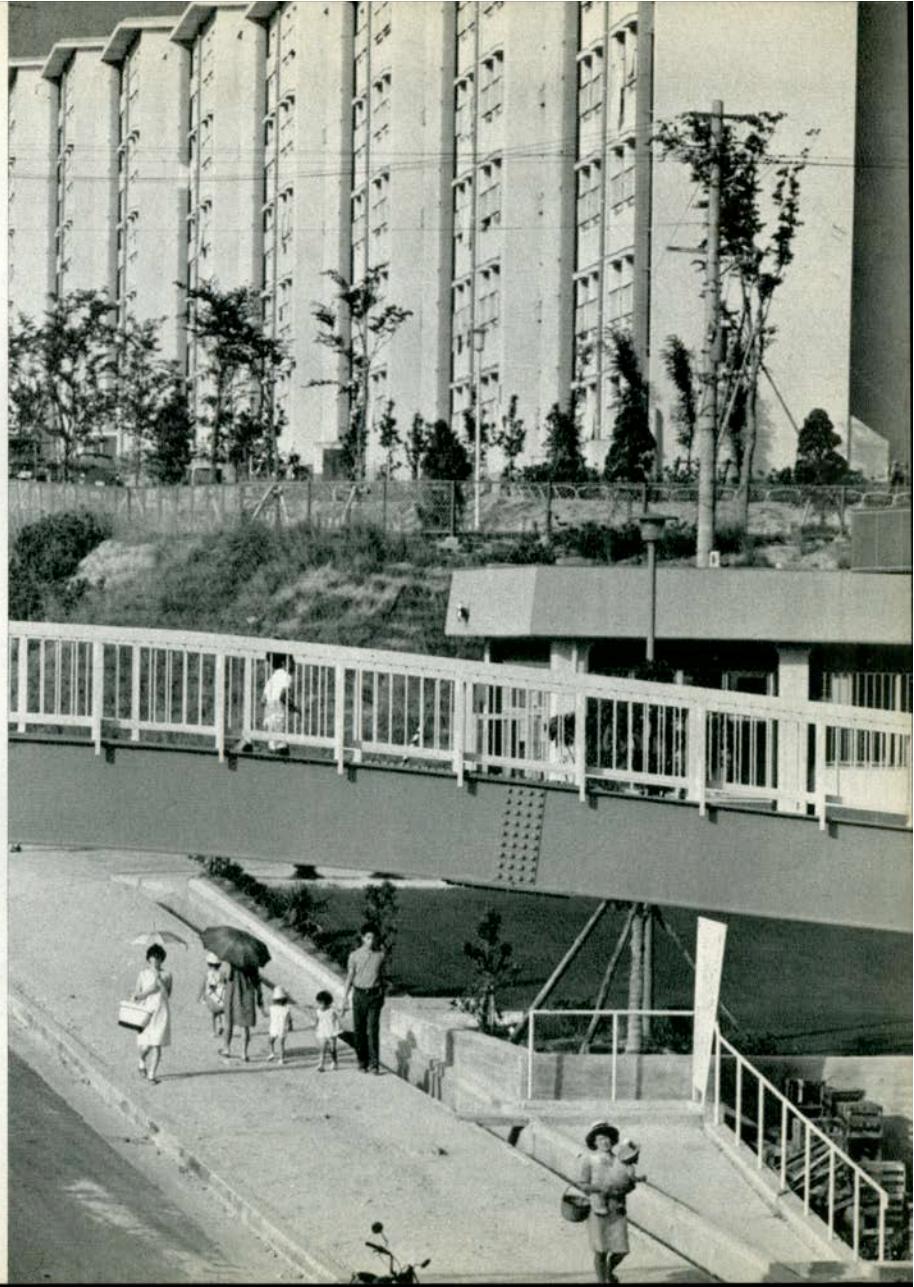
文——陳舜臣
カメラ—緒方しげを

中央にみえる俗称六角堂は、正確にかぞえると八角形で、正式の名は移情閣。鐘紡の重役にもなった華商吳錦堂が大正六年に建てた別荘である。戦後荒廃したが、去年、華僑有志の拠金で修復したばかりだ。岸辺ぎりぎりに建つてゐるが、むかしはその前方に砂浜があり、百メートルほどひろがつていたそうだ。名にし負う舞子の浜も、いまやこのように白砂を削りとられ、青松の残党がけなげに孤塹を守るのみである。それもいつまで？

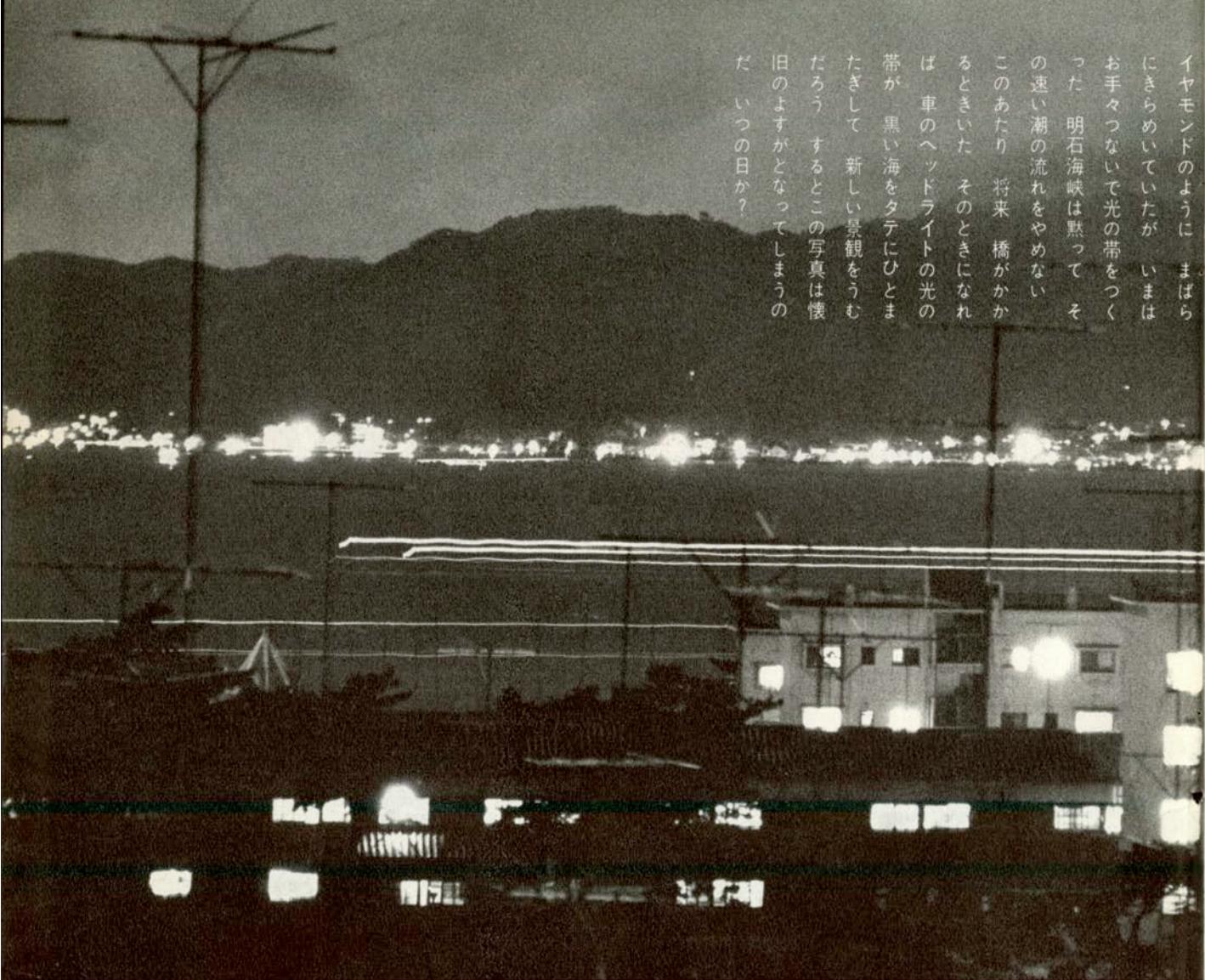


夜になると舞子のむかいの
淡路の山々は その裾を灯火
でふちどられる かつてはダ

戦時中、私はしばらくこのあたりに住んでいたが、当時はいかにも田園といったかんじで、牛糞のに
おいのする土地だった。いまはごらんのとおり、おきまりのベッドタウンと化し、おなじような高層住
宅が軒（などはないが）をならべている。酔っ払って建物をまちがえて御帰還になるダンナもいるそう
だ。おびただしいマイホームのマスは、そこから発する近代家庭生活の息吹きで、ついに牛糞のにおい
を完膚なきまでに吹き散らした。



イヤモンドのように まばら
にきらめいていたが いまは
お手々つないで光の帯をつく
つた 明石海峡は黙つて そ
の速い潮の流れをやめない
このあたり 将来 橋がかか
るときいた そのときになれ
ば 車のヘッドライトの光の
帯が 黒い海をタテにひとま
たぎして 新しい景観をうむ
だろう するとこの写真は懐
旧のよすがとなつてしまふの
だ いつの日か？



No.7

●サンサカエ・ゴルフコーナー

競いあう四クラブ・小野ゴルフ場



遠方からの買物

遠くから、わざわざ神戸のサン・サカエにまで買物にくるのも、私にも合う大きな寸法まで揃っているからです。

秋のおしゃれは、アウターウェアからゴルフウェアまで電話一本で取り寄せられるサン・サカエが便利ですね。一小屋氏談

緑蔭の語らいのある集い

写真左から 小屋 経嘉（社ライオンズクラブ）
吉田喜重郎（小野ロータリークラブ）
西山 静七（小野青年会議所）
上柳 泰一（小野ライオンズクラブ）

合同コンペは実に楽しい集いである。各クラブによって球の趣きが異なるようだ。汗をかき芝を踏む四人がハーフを終えて一息つく顔に、コンペでしか会えないゴルフ友達の語らいが始まる。鴨池をはさむコースでのなでやかな一時である。

マックグレガー



マンシング
ウェア



ダンロップ



men's apparel

サン・サカエ

神戸元町2
TEL(33)-7885

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

* 宝飾品 Jewel·Pearls

① 宝 鉢 御木本真珠店	国际会館 1階 MIKIMOTO Pearls
② 宝 鉢 田崎真珠店	新聞会館 品店 Kobe Shinbun 5 階 6 4 6
③ 宝 鉒 北村真珠店	元町通二丁目 2-motomachi
④ 宝 鉒 タジマジ	元町通二丁目 2-motomachi
⑤ 時計と宝石 美田時計店	元町通三丁目 3-motomachi
⑥ 宝 鉒 神戸宝石	トアロード Tor Road
⑦ 真珠、毛皮 ムラタ	さんちかテツン 山本通4丁目 1212-6
⑧ 宝来婦人服飾 Pearl Fur & Ladies'	

* 紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑨ 神士服 柴田音吉洋服店	元町通四丁目 4-motomachi
⑩ ネクタイ 元町バザー	元町通一丁目 1-motomachi
⑪ 神士服 三恵洋服店	元町通四丁目 4-motomachi
⑫ 男子洋品 フナキヤ	元町通三丁目 3-motomachi
⑬ 神士服 十字屋洋服店	元町通五丁目 5-motomachi
⑭ 洋品雑貨 サノヘ	元町通二丁目 2-motomachi
⑮ ワイシャツ 神戸シャツ	大丸 1 6 8 In front of Daimaru
⑯ 神士服 洋服の渡辺	大丸 1 5 0 Center-Gai
⑰ 衣生活品 ニッケショールーム	元町通三丁目 3-motomachi
⑱ 神士服 神戸テラ一	阪急西口・西 Hankyu west Exit
⑲ 若人の服飾 マック	三宮本店・アート店 Center-Gai・京都店
⑳ 神士服 ユネ	元町通二丁目 2-motomachi
㉑ 神士シャツ 大和屋のシャツ	大和 6 5 6 Center-Gai

* 婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

㉒ 妇人洋装 マキシム	トアロード Tor Road
㉓ 服飾雑貨 エスター・ニュートン	トアロード Tor Road
㉔ 洋品 スギヤ	トアロード Tor Road
㉕ ハンドバッグ シブラサ	元町通二丁目 2-motomachi
㉖ ベビーアイテム 子供服	アトランティック アーバンミリ

㉗ 洋傘ショール	オカダカタダ
㉘ 洋装	マスヤス
㉙ 婦人服飾	ベニヤニヤ
㉚ 輸入服地	マルゼン
㉛ 婦人・紳士服	セリザワ
㉜ 毛皮	ベニーフurrier(Furs)

* 装身具・服飾品 Accessory·Dress

㉝ ベッ甲	太田ベツ甲
㉞ ハンドバッグ	イクシマヤ
㉟ アクセサリー	芸夢
㉟ ハンドバッグ	クロス靴店
㉛ 結納儀式用品	ヨシオカ力

* 和装 Kimono.Geta

㉜ 具 服	ちんがら屋
㉝ 具 服	みよしや
㉞ 衣 服	中川衣裳店
㉟ 衣 服	つるや衣裳店

* 美容 Beauty Shop

㉛ 美 容	美容室あきら
㉜ 美 容	美容室エリザベス

* 美術・工芸品 Art

㉝ 美術	元町画廊・若木屋
㉞ 画材・額縁	末積製額
㉟ 工芸	機川工芸店
㉛ 美術陶磁器	淡洲堂
㉜ 新古美術	新播磨

* 家具・家庭・文化用品 Furniture·Family

㉝ 家 具	永田良介商店
㉜ 家 具	力メヤヤ

㉗ 洋傘	オカダカタダ
㉘ 洋装	ヤマト
㉙ 婦人服飾	ベニヤニヤ
㉚ 輸入服地	マルゼン
㉛ 婦人・紳士服	セリザワ
㉜ 毛皮	ベニーフurrier(Furs)

㉝ メガネ	神戸眼鏡院
㉞ カメラ	コヤマカメラ
㉟ 模式用品	富田屋
㉛ カバン	大上鞄店
㉜ ゴルフ用品	Oue Trunk Co.
㉝ バッグ	タカハシ
㉘ 電器製品	元町家庭電器販売KK
㉙ 薬品	三星堂薬局
㉚ メガネ	眼鏡部メガネ店
㉛ 結納儀式用品	遠藤福寿堂

* ボーリング Bowling

㉝ ボーリング	神戸スターレーン
---------	----------

* 菓子・喫茶 Cake·Tea-room

㉜ 和洋菓子	鳳月堂
㉝ 和洋菓子	月堂
㉞ 和洋菓子	亀井堂本家
㉟ 和洋菓子	雁治郎飴本舗
㉛ 和洋菓子	ドンク
㉜ チョコレート	モロゾフ
㉝ ドイツ菓子	ユーハイム
㉞ ドイツ菓子	ヒロタ
㉟ ドイツ菓子	ユーハイムコンフェクト
㉛ 和洋菓子	二つ茶屋

* クラブ・料亭 Night Club

㉝ クラブ	松乃家
㉞ ナイトクラブ	北野クラブ
㉟ ナイトクラブ	The Kitano Club
㉛ クラブ	くらぶ花くま

* ホテル Hotel

㉝ ホテル	神戸オリエンタルホテル
㉞ ホテル	六甲オリエンタルホテル
㉟ ホテル	有馬温泉(東有馬)古泉閣
㉛ 観光旅館	Kosenkaku

* 商社 Trading House

㉝ ヒール	朝日麦酒 K.K.
㉞ 電化製品	ナショナル電化センター
㉟ 銀行	神戸銀行
㉛ コーヒー・紅茶	UCC上島珈琲本社
㉝ ベビー用品	ベビーアイテム

和洋菓子 寿本

㉝ パーラー	Kotobuki·Honpo
--------	----------------

* 和洋料理 Eating House

㉝ 日本料理	竹葉
--------	----

亭川士家藏

㉝ 本	寿可
-----	----

和洋菓子 富士

㉝ 本	成駒
-----	----

和洋菓子 武

㉝ 本	スミ
-----	----

和洋菓子 カルメン

㉝ 本	Carmen
-----	--------

和洋菓子 ハナワグリル

㉝ 本	Hanawa Grill
-----	--------------

和洋菓子 ニュー・トーキョー

㉝ 本	New Tokyo
-----	-----------

和洋菓子 時雨茶

㉝ 本	Shigure Jaya
-----	--------------

和洋菓子 蜜

㉝ 本	Matsu no ya
-----	-------------

和洋菓子 北野クラブ

㉝ 本	The Kitano Club
-----	-----------------

和洋菓子 くらぶ花くま

㉝ 本	Club Hanakuma
-----	---------------

和洋菓子 乃

㉝ 本	Hanakuma
-----	----------

和洋菓子 家

㉝ 本	Hanakuma
-----	----------

和洋菓子 京

㉝ 本	Arima
-----	-------

和洋菓子 朝日

㉝ 本	Asahi Beer
-----	------------

和洋菓子 ナショナル

㉝ 本	National Electric Center
-----	--------------------------

和洋菓子 神戸銀

㉝ 本	Bank of Kobe
-----	--------------

和洋菓子 UCC

㉝ 本	UCC上島珈琲本社
-----	-----------

和洋菓子 富士

㉝ 本	Hankyu
-----	--------

和洋菓子 富士

㉝ 本	Hankyu
-----	--------

和洋菓子 富士

㉝ 本	Hankyu
-----	--------

和洋菓子 富士

㉝ 本	Hankyu
-----	--------

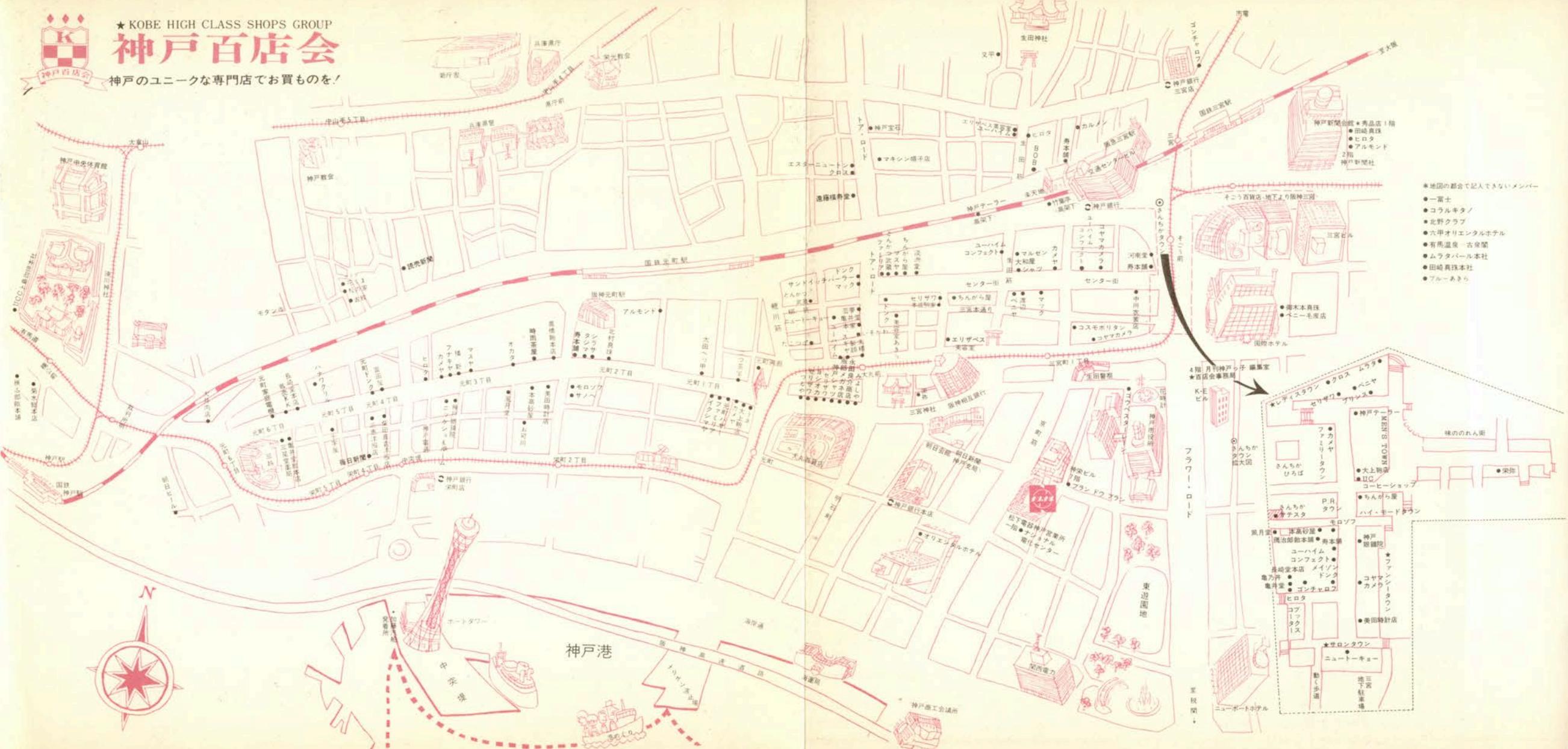
和洋菓子 富士



★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買ものを！





建設資金のワズカ $\frac{1}{3}$ だけを《こうべ》の定額積立と自由積立のセットでスピーディに積立てていただければ、あとの $\frac{2}{3}$ (つまり積立額の2倍!)は《こうべ》がすぐご融資します。いつも気軽にご相談ください。



東宝／内藤洋子



実現を
3倍に
スピードアップ!

- ご融資額 30~500万円 (積立額の2倍以内)
- 積立期間 1年以上 (据置期間3カ月を含む)
- ご返済期間 10年以内(定額積立期間の3倍まで)

 神戸銀行

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用ください



世界に伸びる技術のナショナル

昭和四十年一月二十日 発行所／神戸市兵庫区八幡通五丁目九六（市役所前）K・Eビル四階 TEL 22-7033七七 領価：100円
第三種郵便物認可 昭和四十三年九月一日発行 毎月一回 大日本印刷株式会社印刷

編集発行／小泉康夫（送料12円）



松下電器

- 前面パネルは
しゃれた木目調
- 家庭用100ボルト
電源でOK！

エレック家庭料理コンテスト
実施中！ 期間10月31日まで
電子レンジを使った奥さま得意の
メニューをどしどこ応募ください。
●くわしくは、お近くのナショナル
電子レンジ取扱い販売店で…

秒速調理の ナショナル 家庭用電子レンジ



煮る・焼く・蒸すでもない新し
いお料理づくりを秒速で調理
する（エレック）——電子レンジ
が台所の主役を演じて、ご家
庭の食生活をグンと改善！
ナショナルでは、もつと広く
“電子レンジのある豊かな暮らし”
を楽しんで頂くため、さらに
お求めやすい価格で（家庭用）
を発売しました。



NE-5000(出力500W)
パナック5000
138,000円

月賦定価(15回)151,000円
寸法(高さ51・幅43・奥行45.7cm)

ご家庭の食生活をかえた
お台所の主役〈電子レンジ〉